

学校だより 3つの「あ」×3つの「ことば」

けいせい

帯広市立啓西小学校

どんだん(活動する子)

わくわく(感動する子)

いきいき(表現する子)



令和7年12月23日発行

令和7年度 2学期を振り返って

本日で2学期(登校日は79日)が終了しました。保護者や地域の皆様には、本校の教育活動推進に際しまして変わらぬご理解とご支援をいただきましたことを心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

昨年度と同様に長い夏休み(34日間)を終えての2学期始業となりました。この間、色々な教育活動を通して、成長していく啓西っ子の姿を毎日見ているうちに、早いもので師走となり、終業の日を迎えました。学校は年度のサイクルなのでまだ、学校としての一年間は終わっていませんが、年末・年始の暦の節目というのは、心情を揺り動かす特有の季節感があるように感じます。

さて、2学期は3つの学期の中で最も長く、また、季節的にも真夏から真冬にいたる変化に富む日々を過ごすこととなります。本校では、11月末から12月初めの間、インフルエンザの流行により、2つの学年で閉鎖の措置をとりました。12月中旬に入ってから、インフルエンザの欠席も大きく減っています。今年は、2学期の終業式を全校児童が体育館で行うことができ、『ほっ』としています。

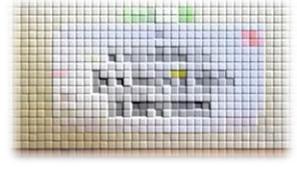
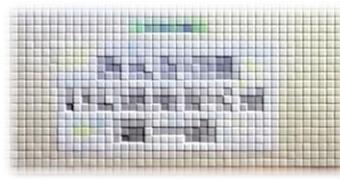
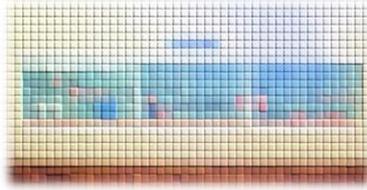
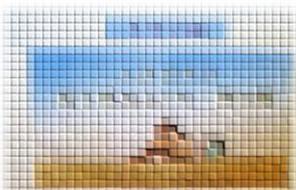
こうした中、子どもたちは、日々の授業はもとより、学習発表会をはじめとする行事や体験的な学習を積み上げてきました。最初は、『できなかったこともできるようになった。わからなかったことがわかるようになった。』など、お子さんのこの1年間のがんばりを認め、ほめ、励ましていただきたいです。ちょっとした良い点に気付き、それを子どもに伝えることはとても大切なことだと考えています。家族や教師からほめられ、認められるという「成功体験」を多くもって育った子どもは、自分の行動に自信をもち何事にも積極的に取り組もうとする力を身につけていきます。昨年度も書きましたが、ほ

めるだけでは子どもはバランス良く育ちません。二宮尊徳の「可愛くば 五つ教えて 三つほめ 二つ叱って 良き人となせ」という言葉にあるように、「三つほめ、二つ叱る」が躰のいい塩梅あまばいと聞いたことがあります。善悪の判断が間違っているときには、しっかりと子どもに向き合って叱る必要があります。そして何よりも、子どもにとっての成功体験(成功モデル)が一番身近にいる家族です。その姿から自分の将来の展望を持つことができるのです。冬休み中は家族で過ごす時間が長くなります。『ほめる』『叱る』『範を示す』をバランス良く使っていただき、家族で有意義な時間を過ごしていただければと思います。この時期は、クリスマスプレゼントやお正月のお年玉など、子どもたちはいろいろなプレゼントをもらうことでしょう。子どもたちにとっては家族からの「自信につながる”ほめ言葉”」が一番のプレゼントになるのではないのでしょうか。

冬休み中、特に気をつけてほしいこと

- ① 人とのかわりを大切にする
- ② 規則正しい生活を送る
- ③ 冬型の事故に気をつける
- ④ 感染症対策に気を抜かない

校内(階段を上がって行って、2階と3階の踊り場)に目を向けると、過日の全校集会で取り組んだ『いじめをなくすために、みんなでつくったもの』が飛び込んできます(左から6年2組、6年1組、5年2組、5年1組の作品です)。



この取り組みを通して、いじめに対するイメージ化が図られ、日々の行動に表出できればと考えています。子どもたちの内面がOUTPUTされたものをぜひ、ご覧ください。

明日から16日間の冬休みに入ります。子ども達には、長い休みでなければできない体験や思い出づくりに取り組んでほしいと思います。1月9日(金)3学期始業式で一回り大きくなった元気な子ども達に会えるのを楽しみにしています。

結びになりましたが、大きな事故もなく2学期を終了することができました。これまでの保護者や地域の皆様方の温かいご支援・ご協力に、心より感謝申し上げます。

お知らせとお願いです



保護者の皆様へ

子ども相談支援センター

●お子様の学校生活や子育てについての悩みなどをお聴かせください。
●専門の相談員が対応いたしますので、お気軽にご相談ください。

電話相談 ☎ **0120-3882-56** (無料)
※毎日24時間対応

メール相談 **doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp**
※保護者、生徒、児童生徒の保護者、関係者の方からのご連絡は、相談内容に配慮いたします。

札幌相談 子ども相談支援センター
〒000-8544 札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館8階
※上記の電話番号で、予約の受付をいたします。

東所相談 北海道立教育研究所
〒009-0834 札幌市東区南条4-2番地
予約電話 **011-386-4520**

【相談できる主な内容】
●いじめ ●不登校 ●学校・家庭 ●児童との関係 ●友人関係 ●生活全般 ●親子関係 ●育児 ●しつけ ●LGBT ●性被害

北海道教育委員会 子ども相談支援センター 〒000-8544 札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館8階

児童生徒のみなさんへ

かけがえのない
あなたの命を守りたい
話そうよ、ひとりで悩まずに
子ども相談支援センター

●あなたの悩みをきかせてください。
●名前を言わなくても相談できます。
●相談は守ります。
●相談を専門とする人が、悩みを聞いてくれます。

●いじめられている、いじめられている友だちを助けない
●学校へ行きたくない、行けない
●友だちとの関係や、家族との関係で悩んでいる
●家庭の事情で自分の時間がとれない
●学校の勉強や、道路について悩んでいる
●性に関することで悩んでいる
●性的に嫌な思いをしている など

0120-3882-56 (無料)
※毎日24時間対応

メール相談アドレス
doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp

※保護者、生徒、児童生徒の保護者、関係者の方からのご連絡は、相談内容に配慮いたします。
※詳しい内容は、電話相談にのってください。

北海道教育委員会 子ども相談支援センター 〒000-8544 札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館8階

子ども相談支援センターでは平成27年10月の開設以来、これまで多くの児童生徒や保護者からの相談を受け付けてきました。各学校でも、日頃から児童生徒に寄り添い、悩みを抱える児童生徒の心のケアに努めているところですが、**ゴールデンウィークなどの連休や夏休み・冬休みなどの長期休業明けに不登校となる児童生徒や自殺者が増える傾向がある**ことから、改めて児童生徒が相談できる窓口を周知し、児童生徒の心のケアに万全を期していきたいと考えています。各学校において、「主な相談窓口（北海道）」や「子ども相談支援センター」をはじめとする相談窓口について周知いたしますのでよろしくをお願いします。

※ 令和7年4月24日発行の学校だよりに掲載したものをあらためてお知らせしています。

パワーアップ学習会

冬休みのパワーアップ学習会では、「自分で学習課題を決めて、自分で用意した内容に取り組もう」というテーマで学習を行います。およそ1時間という限られた時間ではありますが、自分の力を高めるチャンスです。

・期日 **明日12月24日(水) 午前9時～10時**
※8時50分に児童玄関が開きます。

・場所 啓西小学校(教室は当日割り当て)

体罰調査について

体罰に関する調査をお願いします。今年度も昨年度に続き、原則としてWebでの回答となりますので、依頼文のみお配りしております。また、調査票及び返信用封筒が必要な方は、1階図書室前に備え置きしておりますのでご利用ください。なお、回答の締め切りは1月16日(金)となっています。どうぞご理解とご協力をよろしくお願いします。

◆冬休み中の学校への連絡について◆

12月24日(水)～1月8日(木)までの冬休み中のケガや病気等の連絡は**平日8:30～16:00の間に啓西小学校 ☎ 34-4659**へご連絡ください。なお、**土日・祝日及び学校閉庁日(12月27日～1月4日)**は**帯広市役所 代表 ☎ 24-4111**に連絡をお願いします。

スケートリンクについて

過日、ラクメでお伝えしましたように、12月20日(土)からリンク造成(圧雪作業)がスタートしたところです。しかしながら、リンク完成の目途はたっておりません。今後のリンク造成の進み具合を見ながら、あらためてラクメ等でお伝えしますので、スケート靴の準備については、今しばらくお待ちください。



図書カードをいただきました

今年度も昨年度に続き、柏林台連合町内会様より、図書カードを寄贈いただきました。コロナ禍前のように『昔遊び』などを通して地域の方とふれあったり、交流したりすることは叶いませんが、寄贈いただいた図書カードは、子ども達のために有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

学校評価アンケートについて

お忙しい中、学校評価アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。集計結果は、3学期の学校だより等でお知らせします。

今年ものこりわずかとなりました。今年一年、皆様の温かいご支援・ご協力に心から感謝いたします。新年をご健勝にて迎えられることをお祈り申し上げます。